2013 年末～2014 年始における山の気象の記録

2014 年 4 月　　（公社）　東京都山岳連盟　気象委員会

東京都山岳連盟に加盟している団体及び個人会員の協力により、各登山パーティから 10 件の 2013 年末～2014 年始における山の気象データを収集した。そのデータをまとめた資料を作成したので、気象遭難事故防止や冬山気象の研究に活用していただきたい。

期間概況

今期の前半に当たる 12 月 27 日には大きな気圧の谷が日本付近を通過し、翌 28 日には日本の上空には強い寒気が流入して、天気図型は典型的な冬型（西高東低型）となった。このため等圧線の走りも縦縞模様となり日本付近は北よりの季節風が強まった。このため本州の脊梁山脈から日本海側に当たる山域では風雪模様の天気となった。

その後、大陸高気圧の張り出しが日本の南海上方面を覆う天気図型に変化し、日本付近の等圧線の走りがほぼ東西方向に走る型となり、いわゆる里雪型に似てきた。

今期の後半に当たる年始の頃は里雪型に近い天気図型となり、例年強い風雪に見舞われる山岳地帯も、例年よりは弱めの風雪天気になったとも考えられ、山の天気は大荒れも少なく、幸いにも山岳における大きな気象遭難事故はなかったように見受けられた。

なお、全期を通じて気づいた点は 1 月 1 日の元旦に、本州付近を日本海低気圧に伴う寒冷前線が通過しており、このような寒冷前線の通過時には「擬似好天」現象が起きやすく、当日も中、下越方面に入山中のパーティによると「朝方に束の間の晴れ間があって・・・」という記録報告があり、これは「擬似好天」現象であったものと考えられる。

次に各日毎の気象状況を見る。

12 月 28 日

日本付近は大きな気圧の谷の通過後、気圧配置は強い冬型となり、富士山の平均気温も－27℃位まで下がり、日本の上空には強い寒気が流入し、中、下越方面は風雪の天気となった。北ア南部でも午後になって雪が降り始める。

12 月 29 日

昨日に続き 29 日も気圧配置は強い冬型となり、上空には強い寒気もあって中、下越方面は強い風雪の天気となったが、北ア方面では比較的に良い天気との報告もあるが、これは 28 日に比べて風が多少弱めとなったことを意味しているもので、日本付近の等圧線の間隔も広まっている。日光白根山は晴れで風は弱い。

一方、南アの甲斐駒ヶ岳方面では風も弱まって晴天。

12 月 30 日

大陸高気圧は日本の南海上方面に張り出し、気圧傾度も次第に緩み始め、等圧線の走りもほぼ東西となり、天気図型は里雪型に近くなる。しかし、中、下越方面は相変わらず風雪の天気で視界も悪い。北ア南部の槍ヶ岳方面では日中は曇りベースで時には薄日のさす天気で、夜になって雪となるが、日光白根山は風弱く晴天。

一方、南アの甲斐駒ケ岳方面では晴天で視界も良い。

12 月 31 日

大陸高気圧が中国大陸方面から日本の南海上へと張り出し、気圧配置は冬型よりも寧ろ南高北低型に近い型となり、気圧傾度も大分緩んできた。このため風雪の天気が続いた中、下越方面でも昼頃には風雪の天気も弱まり、北アの槍ヶ岳方面でも風雪の天気が納まるが、風は強い。

1月1日

冬型の気圧配置が緩み、日本海に低気圧が現れる。このため飯豊連峰方面は風雪の天気となるが、中、下越方面や他の山域では風雪の天気が納まる。しかし、日本海の低気圧に伴う寒冷前線の通過で、一時的に中、下越方面や南アの山域では悪天（風雪）となる。

なお、寒冷前線の通過前に中、下越方面の山域では、朝方に束の間の晴れ間が現れ、「擬似好天」の現象があった模様。

1月2日

日本海にあった低気圧はオホーツク海方面に去って発達し、気圧配置は北日本を中心に冬型となり、飯豊連峰を始め東日本や北日本の山域では風雪の天気となる。一方、南ア方面は晴天が続く。

1月3日

日本の南海上にあった高気圧は移動性となって東に移動し、この後面には大きな気圧の谷が日本付近に接近してきたため、冬型のパターンも崩れ東北南部の飯豊連峰や上越（平標山）方面でも晴天となる。

なお、北海道の小樽後志方面では、日本海にある低気圧の接近で西風が時々強く雪の天気。

「文責　城所邦夫」

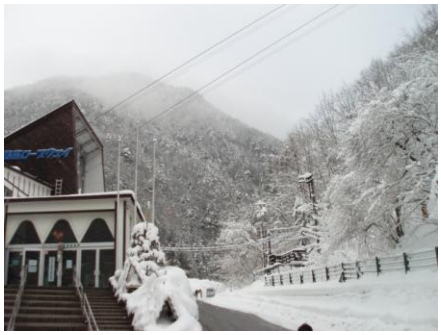
2013 年末～2014 年始の山の気象データ

北アルプス　槍ヶ岳・中崎尾根　　（東京都山岳連盟所属　　東京ヤングクライマーズクラブ）

行程：　12 月 30 日　新穂高温泉～槍平
　　12 月 31 日　槍平～奥丸山～槍平～新穂高温泉

気象データ

12 月 30 日　新穂高～槍平



9：00　新穂高　雪がちらつくが雲間から青空がのぞく。31 日は晴れ予報。31 日に頂上を目指すことにする。

（8：40）気温 0℃、湿度 88.5%、気圧 888.0hPa（補正後 1017hPa）、標高 1098m

ロープウェイの人の話では、報道されているほど雪は多くなく、むしろ寒いとのことであった。西穂高ロープウェイ西穂高口駅の積雪量は 2m。

入山者は例年より少ないが、30 日も数パーティー入っているとのこと。トレースはしっかりついていて、わかんを使うことはなかった。

暖かく、雪はしまっておらず、トレースの脇の雪はすぐに崩れてしまい、腿くらいまでもぐる。

10：00　穂高平避難小屋

11：00　白出小屋　気温－0.7℃、風速 0.6m、気圧 839.7hPa（補正後 1017hPa）、標高 1555m

12：30　滝谷避難小屋

15：00　槍平　昼くらいまで薄日で、時おり青空が出る。午後から曇りだし、雪がちらつく。夕方から本格的に降ってくる。西風。気温－4℃。冬期小屋はちょうどいっぱいで、入れず。テント泊は 4 パーティー位。少ない。

携帯の電波が入り、天気図をみることができた。夜の予報で、31 日の予報は雪、低気圧が発生し、1 日は荒れる予報にかわり、明日の行動について相談する。下山してきたパーティーの情報によると 29 日、30 日は比較的に天気がよく、登頂できた模様。

12 月 31 日（木）槍平～奥丸山～槍平～新穂高温泉

1 月 1 日は動けなさそうなので、今日中にピーク往復、もしくは肩の小屋でビバークとする。**朝から雪。１晩で 30 センチくらい積もる。**

（6:00）気温-3.6、風速 0.6m、西風。湿度 100%、気圧 790.4hPa（補正後 1009.6hPa）、標高 1977m

6：30　槍平　出発。トレースあるが、降り続ける雪ですぐにうまり、歩き難い。

(7:20) 尾根取り付き 2184m 付近　気温－9.5℃、風速 4.3m、西風。湿度 100%、気圧 770.7hPa (補正後 1015hPa)、標高 2184m。

(8:20) 奥丸山山頂付近　気温-10.2℃、風速 10m、湿度 100%、気圧 750.9hPa (補正後 1015.7hPa)、標高 2393m。

徐々に視界悪化、風雪が強くなってきたので、ここまでとして槍平に戻る。尾根までテントをあげるパーティーも数パーティーいた。30 日に登頂できず、下りてくるパーティーもいた。

9：00 頃　槍平　テントを撤収して、9：30 過ぎに新穂高に向かう。

滝谷を過ぎたあたりから、雪が弱くなり、明るくなってくるが、もと来た道を振り返ると、ガスって薄暗い。

15：00 位　新穂高温泉　青空が見え、天気はよい。

北アルプス　霞沢岳　　（東京都山岳連盟所属　　昭和山岳会）

月　日	場　所	気象データ
12 月 28 日	釜トンネル～明神	・いつも通り風が冷たく寒い、少しだが雪も舞っている。 ・途中から雪が降り始め視界も段々利かなくなる。
12 月 29 日	明神～徳本峠分岐～1610m 地点～徳沢	雪も降っておらず、明神岳は朝日が当って輝いている。蝶が岳に目標を変更し 1610m 地点で折り返す。
12 月 30 日	徳沢～蝶が岳～徳沢	前穂はよく見えたが槍ヶ岳や奥穂、北穂などは曇っていて見えなかった。
12 月 31 日	徳沢～釜トンネル	

北アルプス爺ヶ岳（東尾根）　　（東京都山岳連盟所属　　東京雲稜会）

月　日	場　所	気象データ
12 月 31 日	1724m地点～2050m地点（幕営地）	1724m地点　11:40 曇り　-3.5℃　風速　3m/s　風向不明　湿度 48% 2050m地点　夜 風強くテントポールが折れ曲がる。
1 月 1 日	2050m地点（幕営地）	6:30 天候、温度不明　風強し　風向風力不明

南アルプス甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳　　（東京都山岳連盟所属　　童人トマの風）

月　日	場　所	気象データ
12 月 29 日	戸台～北沢峠	
12 月 30 日	北沢峠～甲斐駒ヶ岳～北沢峠	天気は抜群によく、遠くの山もよく見えた。
12 月 31 日	北沢峠～仙丈ヶ岳～北沢峠	快適だった甲斐駒ヶ岳に対し、この日は朝から雪とガス。 森林限界を越えてからは風も強くなる。 山頂に着くと次第にガスが晴れ、展望を楽しむ。

南アルプス甲斐駒ヶ岳（黒戸尾根）　　（東京都山岳連盟所属　　登高会　嵜）

月　日	場　所	気象データ
12 月 28 日	駒ヶ岳神社～五合目	
12 月 29 日	五合目～甲斐駒ヶ岳～駒ヶ岳神社	出発時は風が強かったが、稜線に出るころには風もなく晴天であった。

日光白根山　　（東京都山岳連盟所属　　日本モンブランクラブ）

月　日	場　所	気象データ
12 月 29 日	ﾛｰﾌﾟｳｪｲ頂上駅 七色平避難小屋	13:30　2000m　晴れ無風　−14℃ 14:30　2100m　晴れ無風　気温不明 22:30　星空微風　−10℃
12 月 30 日	七色平避難小屋 日光白根山頂上 七色平避難小屋（着） ﾛｰﾌﾟｳｪｲ頂上駅	7:00　2100m　晴れ無風　−10℃ 9:15　岩稜帯に登る急登の手前　曇り弱風気温不明 11:15　2577m　小雪強風（ﾊﾞﾗﾝｽを崩すほどの風ではなかった。）−10℃ 12:45　2100m　晴れ弱風　−5℃ 14:30　2000m　晴れ弱風　気温不明

中・下越　下田・川内山塊　　（東京都山岳連盟所属　　童人トマの風）

月　日	場　所	気象データ
12 月 28 日	東三条～下田～白根山～幕営	風雪強い 吹雪の中、白根山に立つ。風はどんどん強まる。
12 月 29 日	～堂ノ窪山～幕営	風雪強い、 視界きわめて不良
12 月 30 日	～アカシガラ沢源頭～幕営	雪、視界不良 夜の間に降った雪でテントが半ば埋まっている。
12 月 31 日	～毛石山手前～幕営	昼ごろからは天気が小康状態となり、気温が上がって着衣が濡れる。

1月 1日	～幕坪	朝方晴れ、後ミゾレから雨 朝は束の間の晴れ間となり、 銀次郎あたりまで見えた。

上越　平標山山スキー　（東京都山岳連盟所属　　東京恋峰倶楽部）

月　日	場　所	気象データ
1月 3日	火打峠Ｐ～稜線直下～ 火打峠	晴れ　雪が深くスキー歩行 でも体力を消耗する。

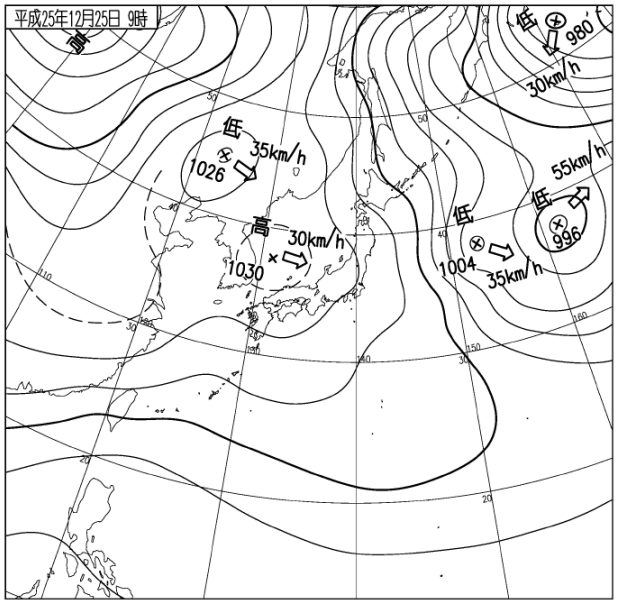
東北　飯豊山　（東京都山岳連盟所属　　わらじの仲間）

月　日	場　所	気象データ
12月29日	梅花皮山荘前の橋～飯豊山荘～ ～ダイグラ尾根渡渉点～幕営	
12月30日	～P1677m手前	
12月31日	～飯豊山～本山小屋～切合小屋	視界の悪い中を歩き続けて登頂
1月 1日	停滞	
1月 2日	停滞	掘り出した小屋の窓も朝には雪に埋まる
1月 3日	～三国小屋～川入	6日目にしてようやく晴れて 稜線を拝める。

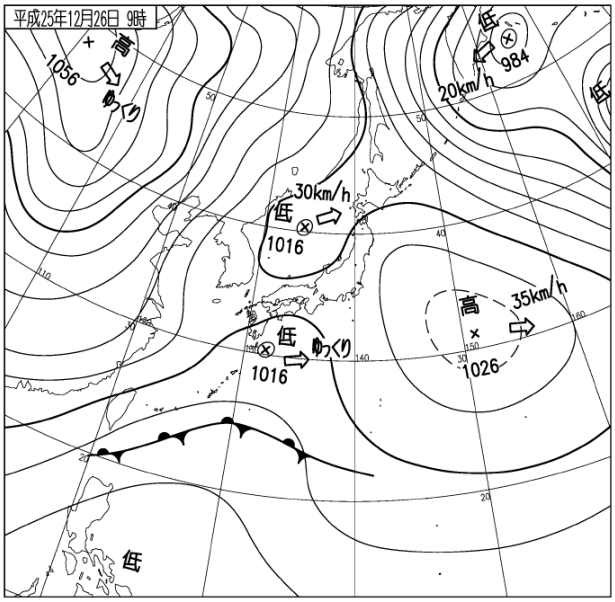
北海道　小樽後志　（東京都山岳連盟所属　　個人会員）

月　日	場　所	気象データ
1月3日	キロロスキー場余市岳登山口	余市岳登山口への林道分岐　865m 14:30　雪　-5℃　西風 時々強風 雲の様子　雪雲　吹雪、時々雪煙に包まれる。

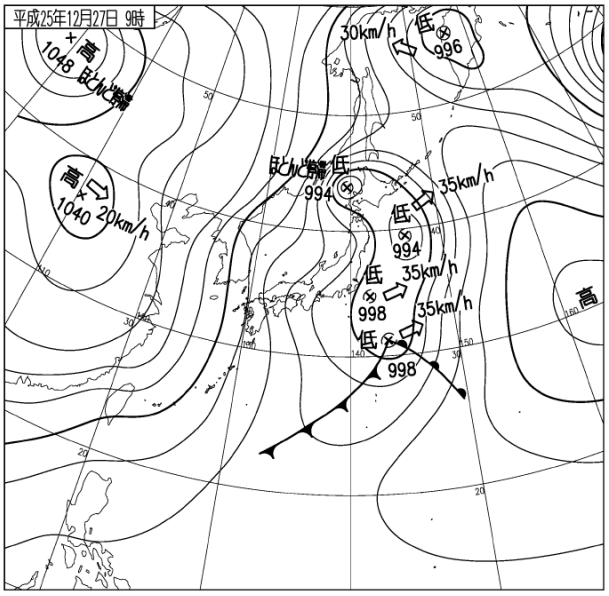
2013 年末～2014 年始の地上天気図（気象庁提供）



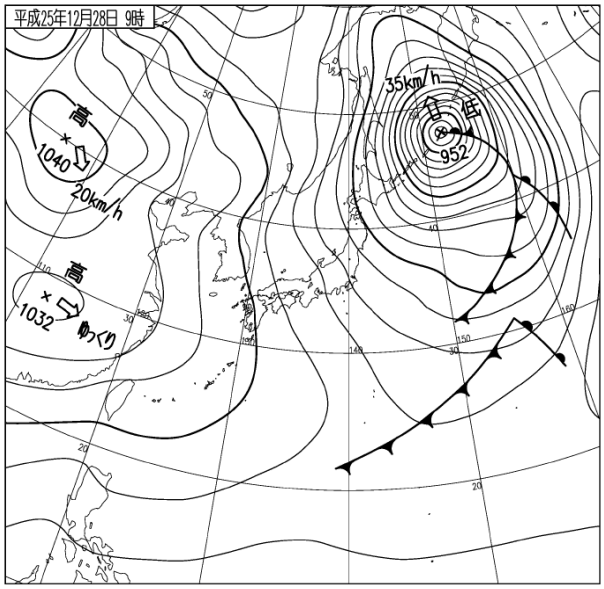
12 月 25 日 9 時



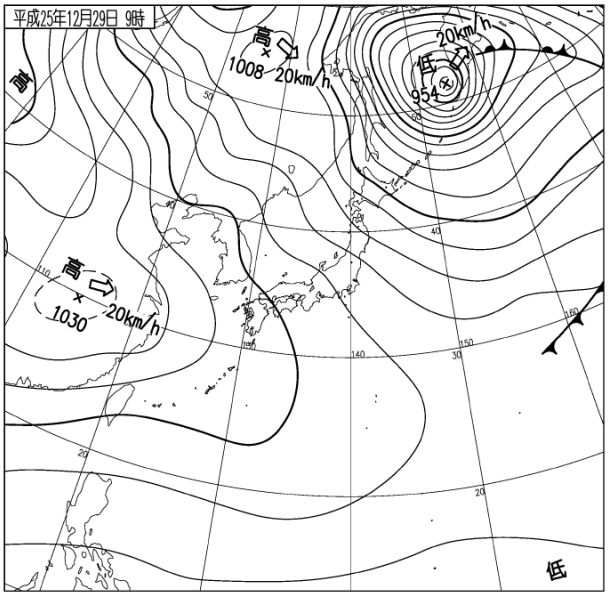
12 月 26 日 9 時



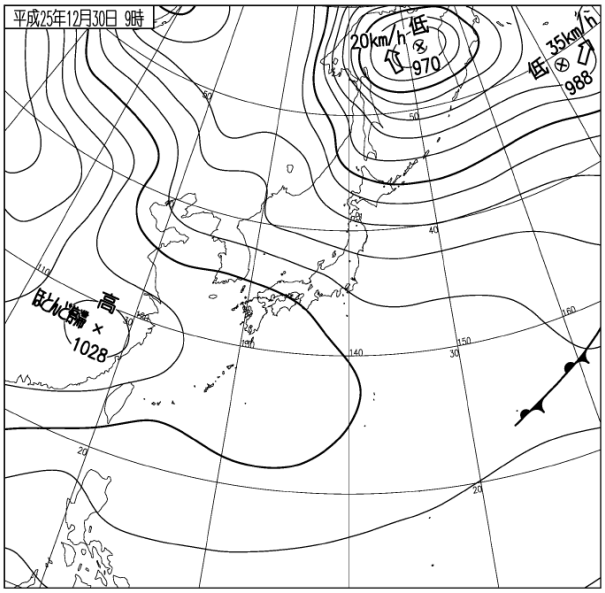
12 月 27 日 9 時



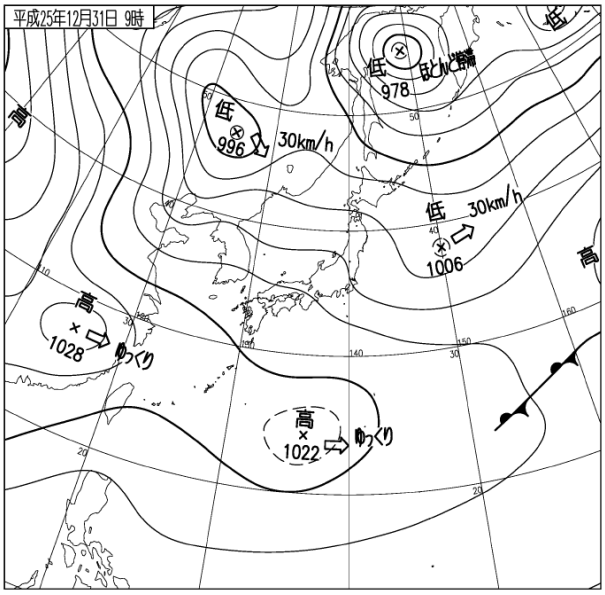
12 月 28 日 9 時



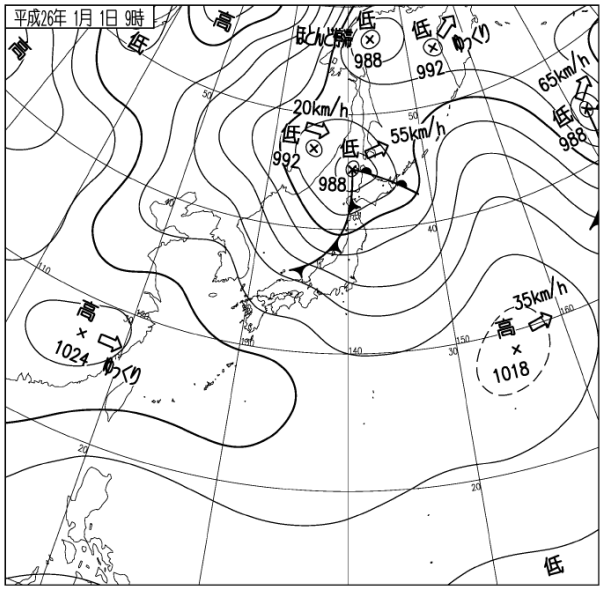
12 月 29 日 9 時



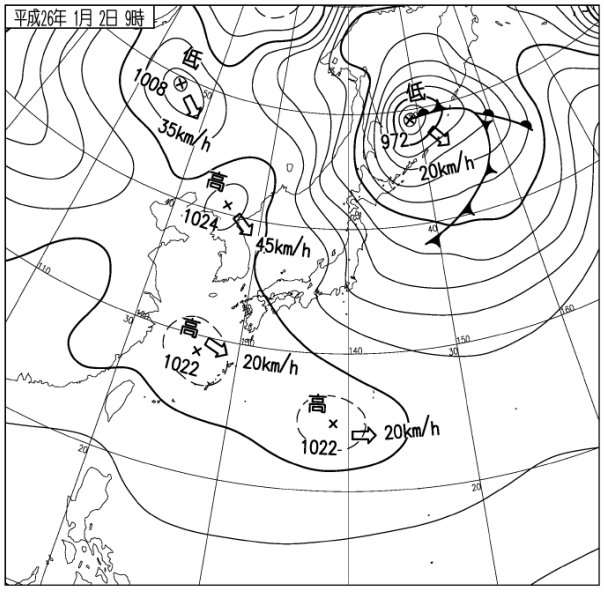
12 月 30 日 9 時



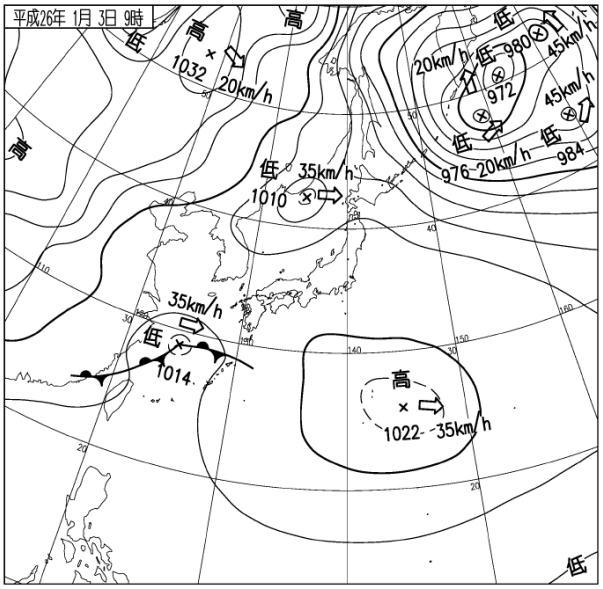
12 月 31 日 9 時



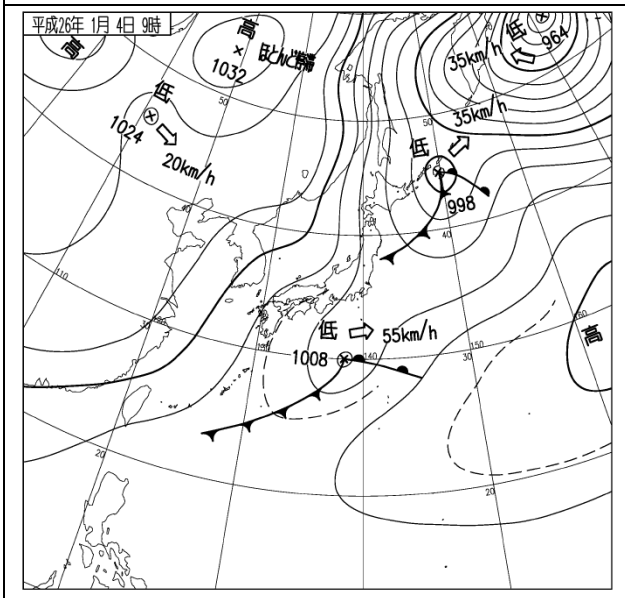
1 月 1 日 9 時



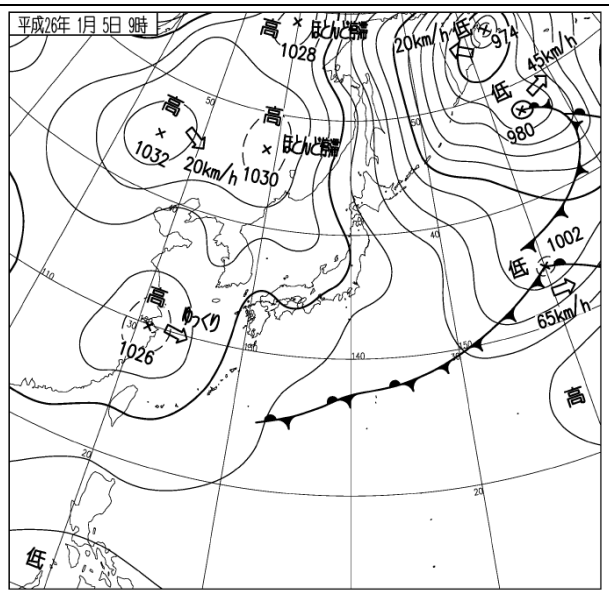
1 月 2 日 9 時



1 月 3 日 9 時

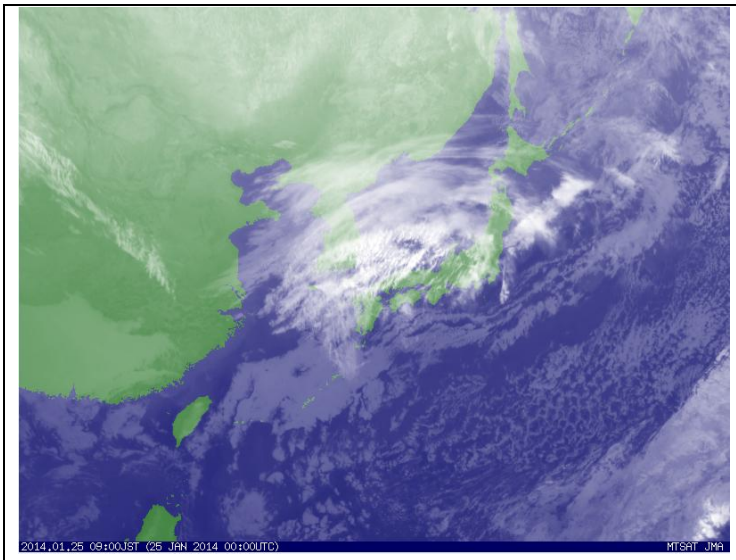


1 月 4 日 9 時

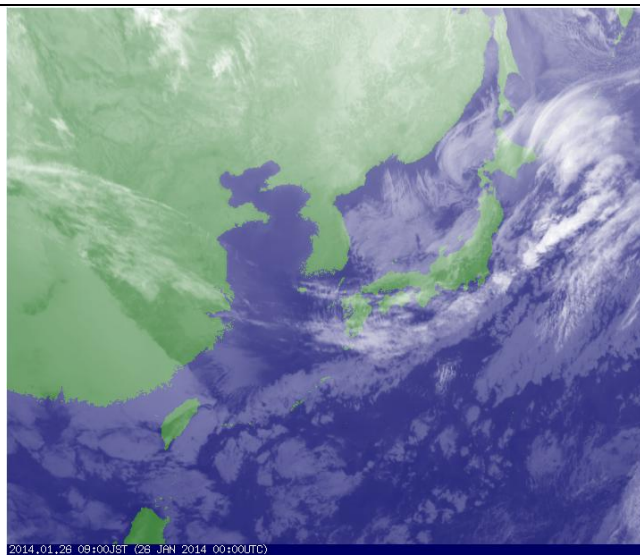


1 月 5 日 9 時

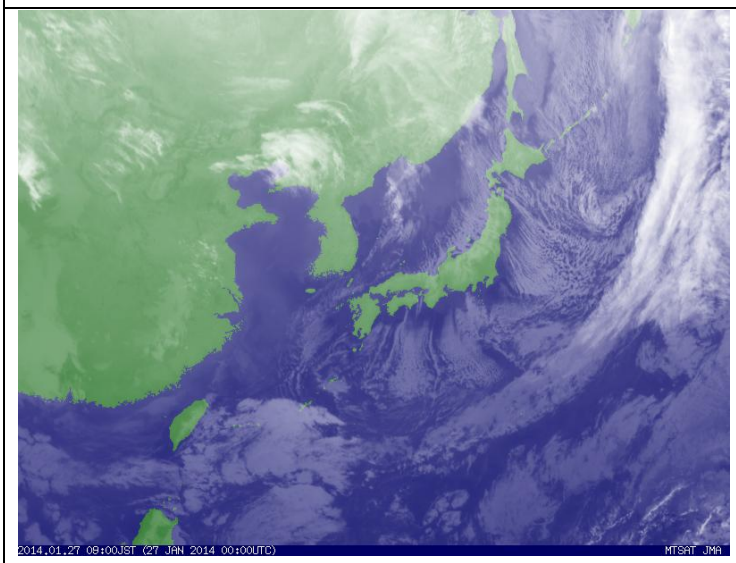
2013 年末～2014 年始の衛星画像図（気象庁提供）



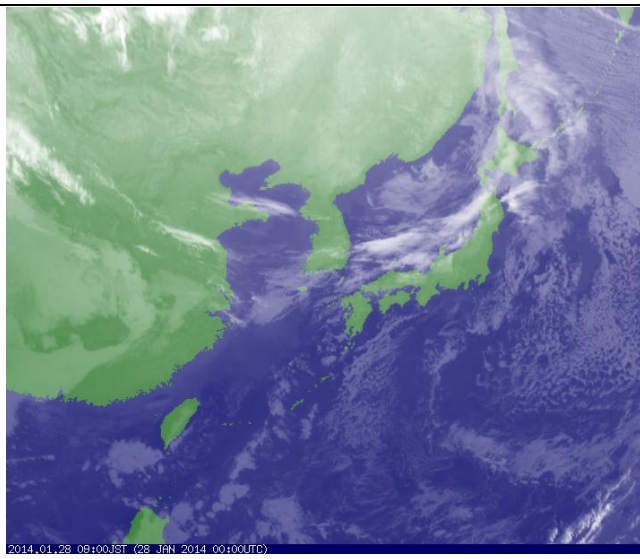
12 月 25 日 9 時



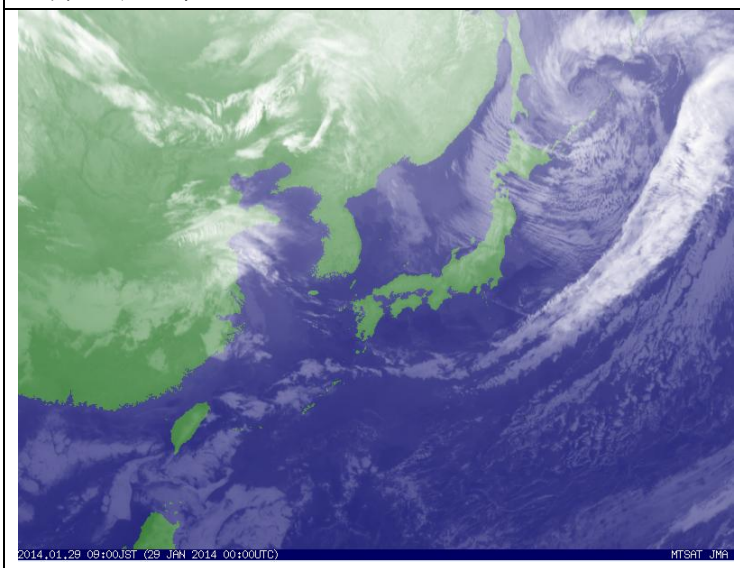
12 月 26 日 9 時



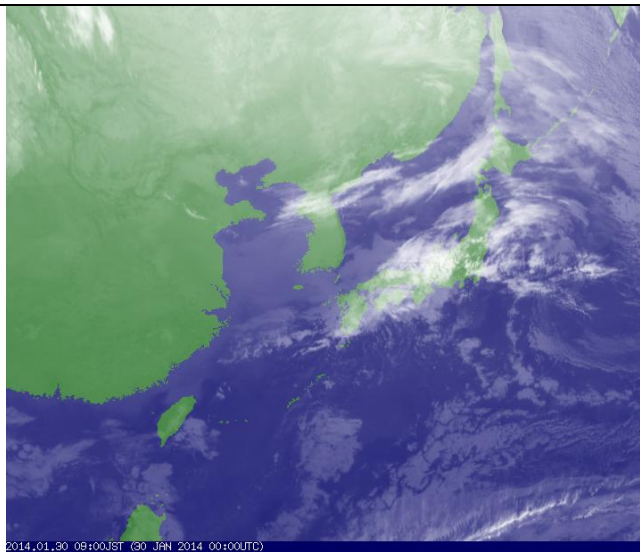
12 月 27 日 9 時



12 月 28 日 9 時

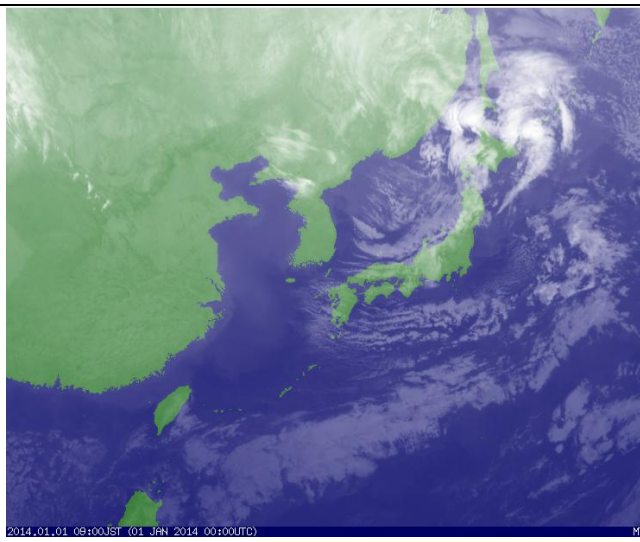


12 月 29 日 9 時

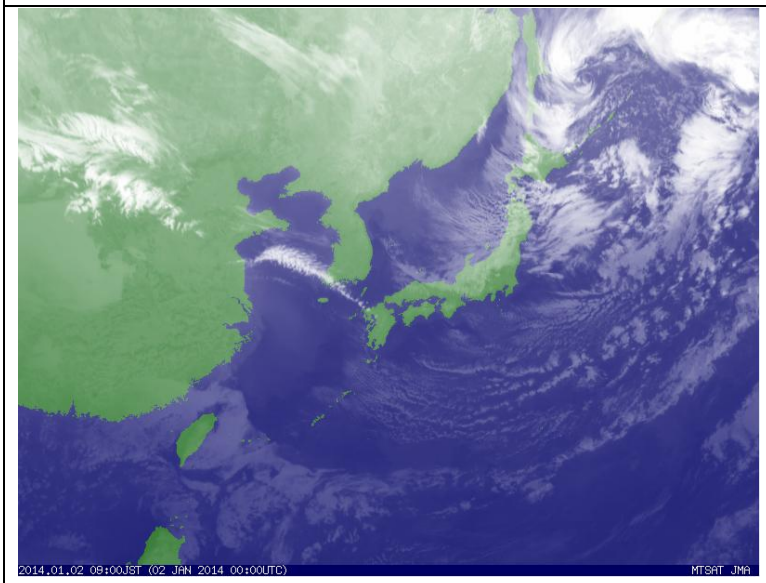


12 月 30 日 9 時

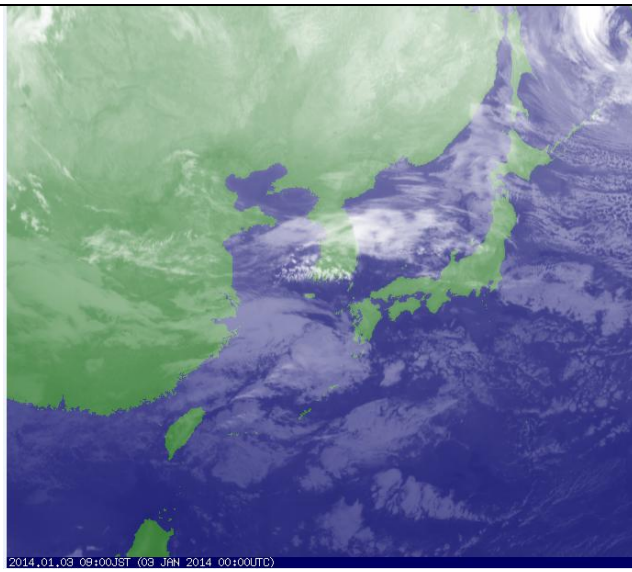
12 月 31 日 9 時　（国立情報科学研究所　提供）



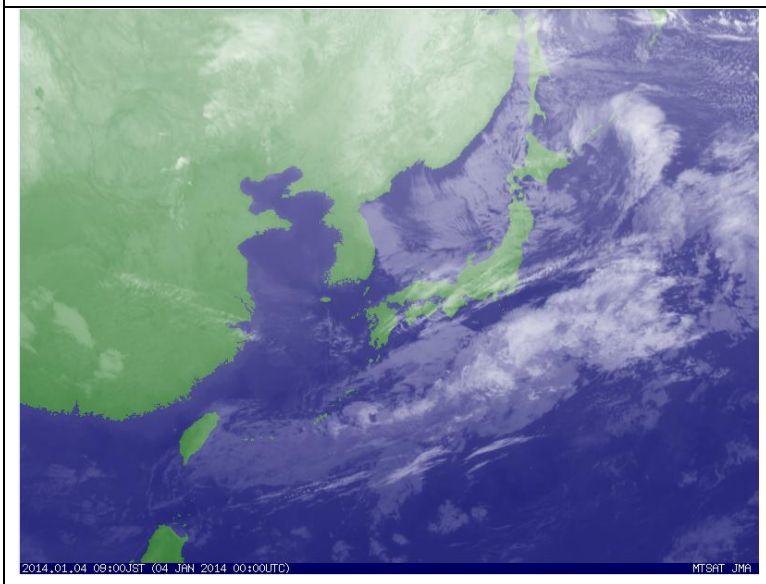
1 月 1 日 9 時



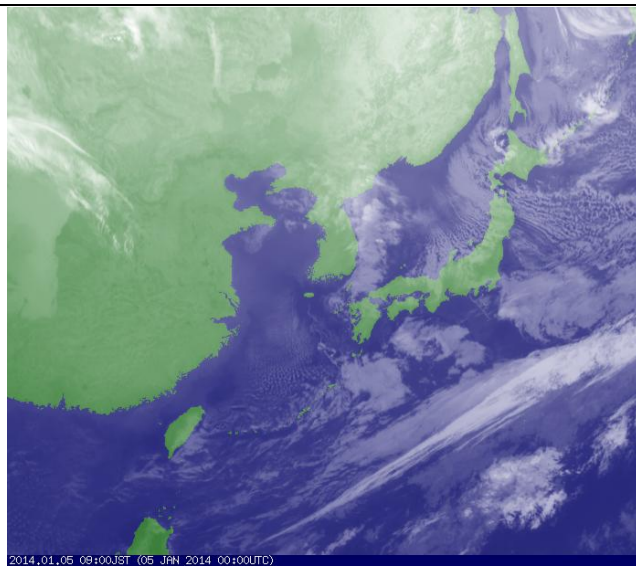
1 月 2 日 9 時



1 月 3 日 9 時

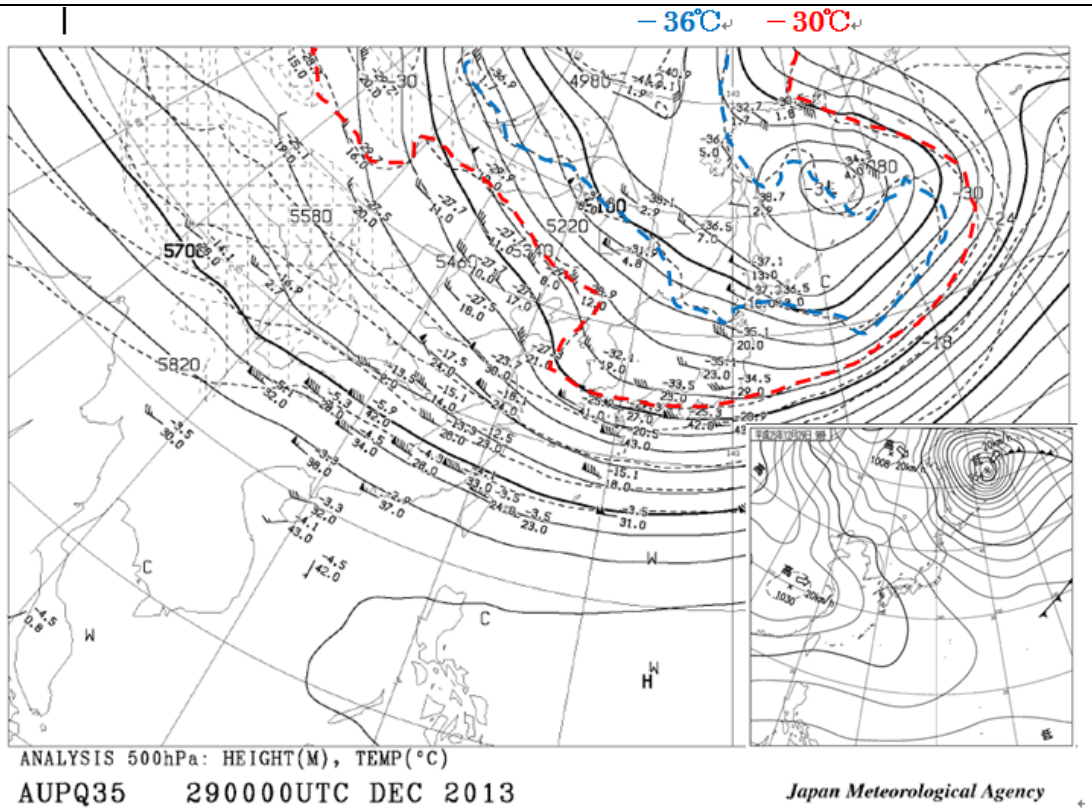


1 月 4 日 9 時

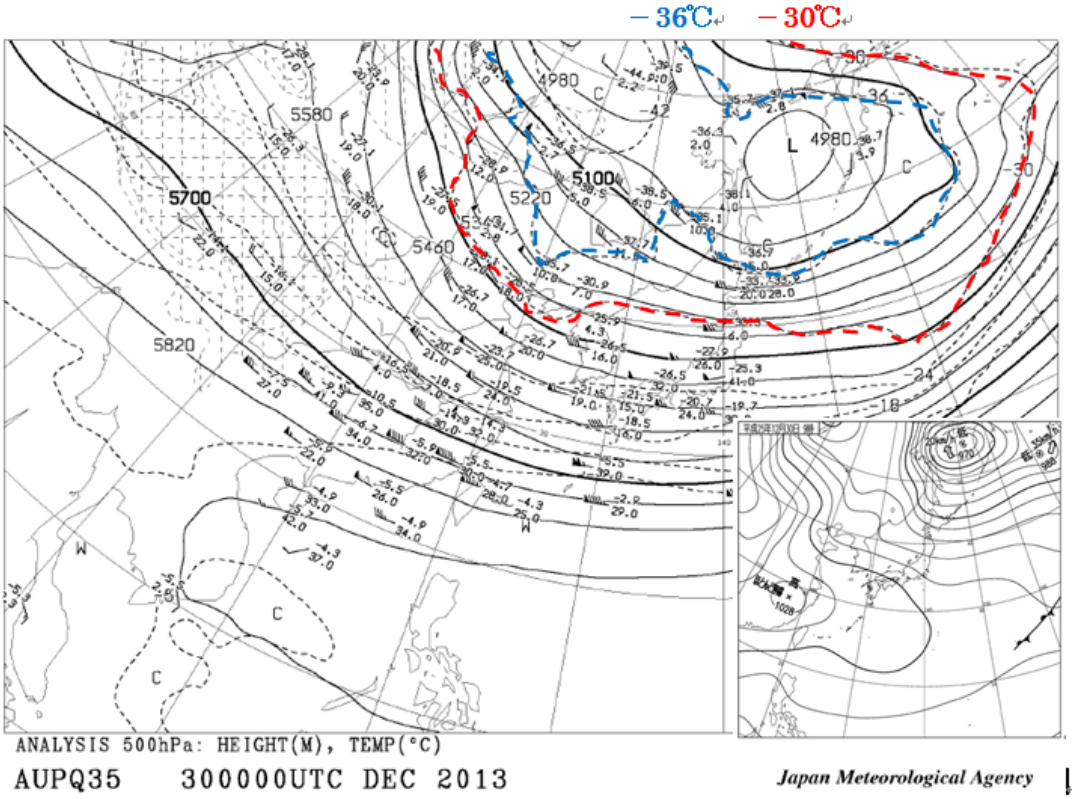


1 月 5 日 9 時

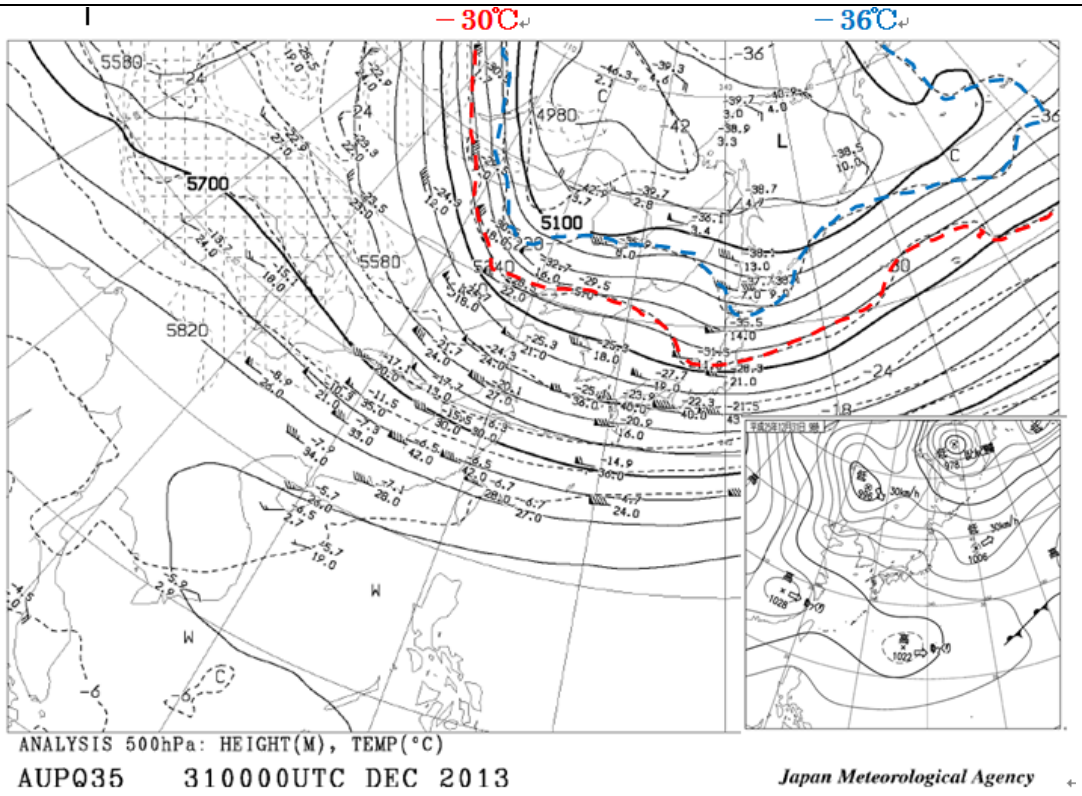
2013 年末～2014 年始の 500hPa 高層天気図（気象庁提供）



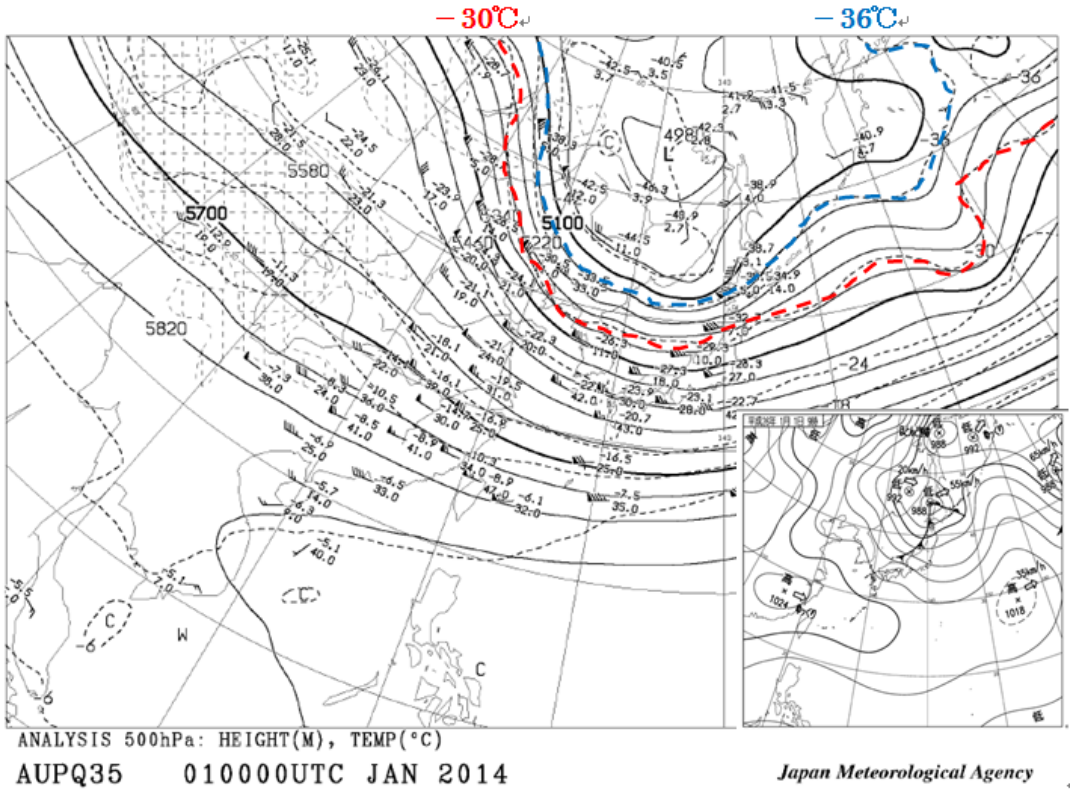
12 月 29 日 9 時



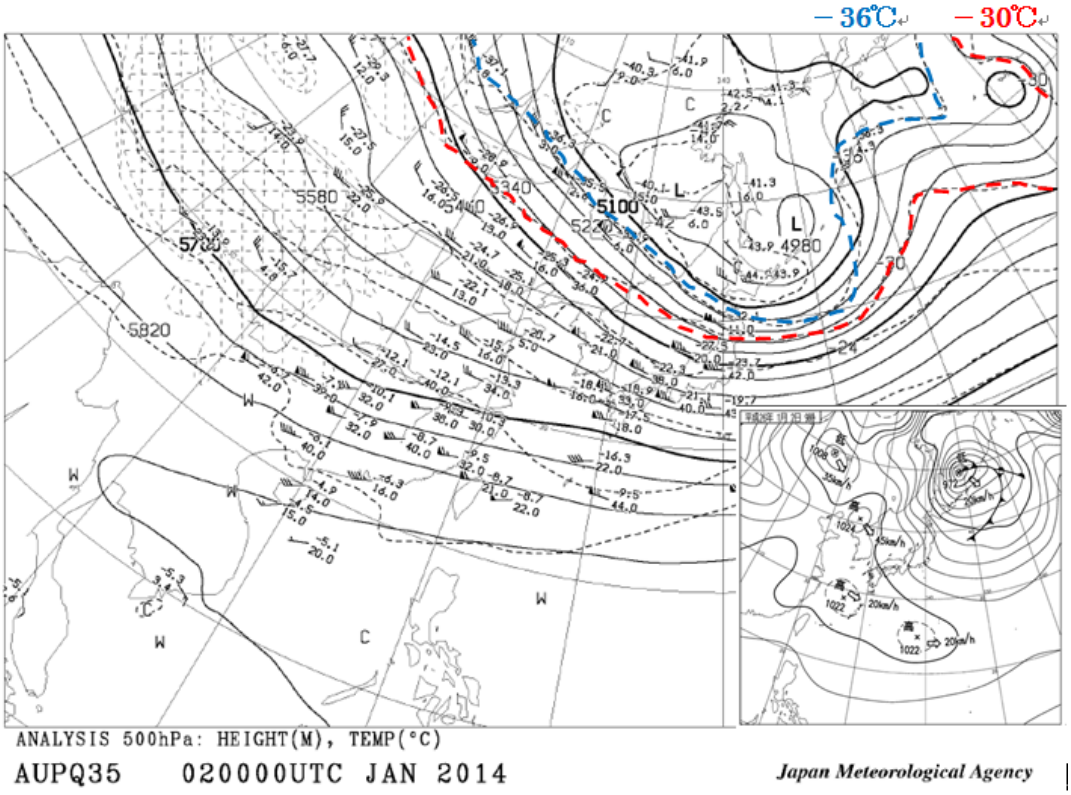
12 月 30 日 9 時



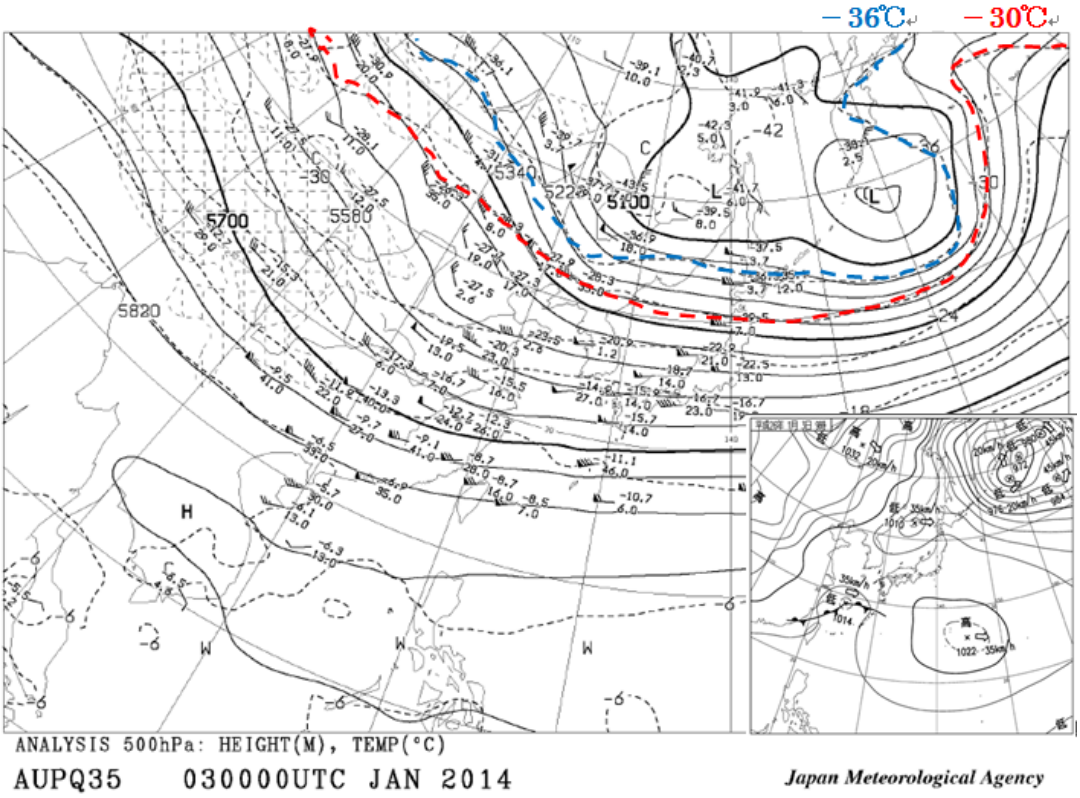
12 月 31 日 9 時

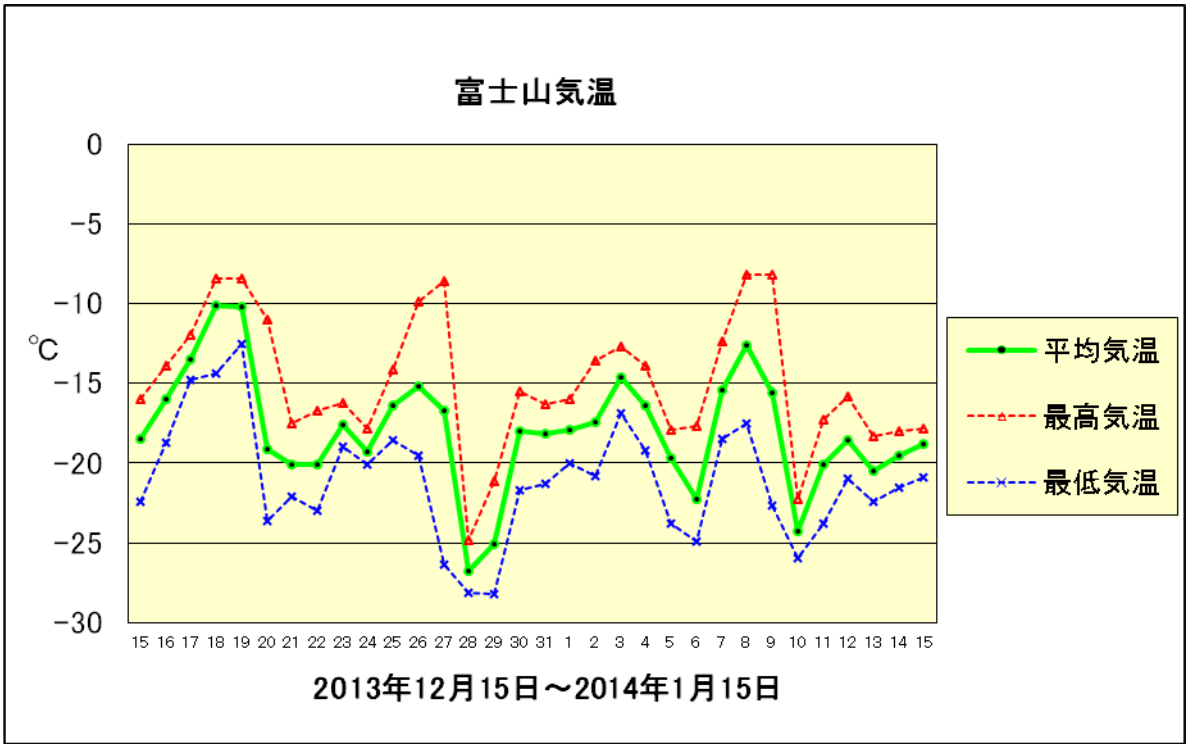


1 月 1 日 9 時



1月2日9時



1月3日9時

2013 年末～2014 年始の富士山の気象データ（気象庁提供）